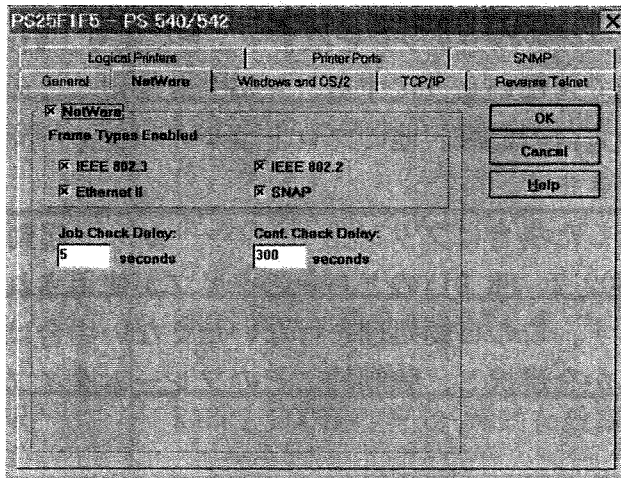


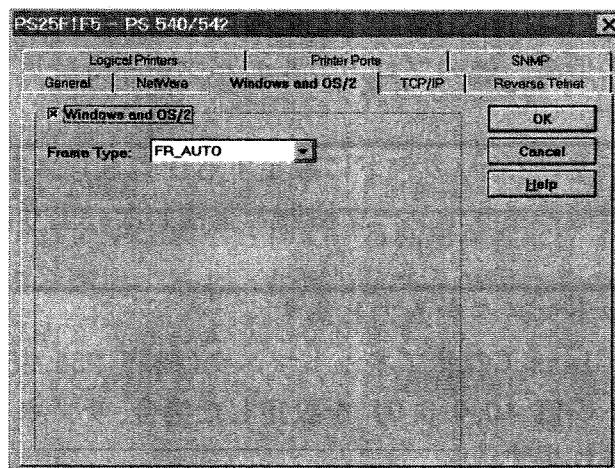
### 7.2.5.2. NetWare properties



\* 各パラメータの設定

NetWare:	このチェックボックスのチェックをはずすことによりNetWare環境で使用できないようにすることができます。このことによりネットワークの負荷の低減、他のプロトコルのパフォーマンスを増大させることができます。
Frame Types Enables:	フレームタイプを選択することにより、その環境に適した設定を行なうことができます。
Queue Polling Interval / Job Check Delay:	プリントサーバー・カードがプリントキューをチェックする間隔を設定します。 設定できる値は1～255です。
Conf. Check Delay:	(NDSモード専用) このパラメータはプリントサーバー・カードがNDS treeを検索することにより、プリントサーバー・カードの設定を更新する間隔を設定します。

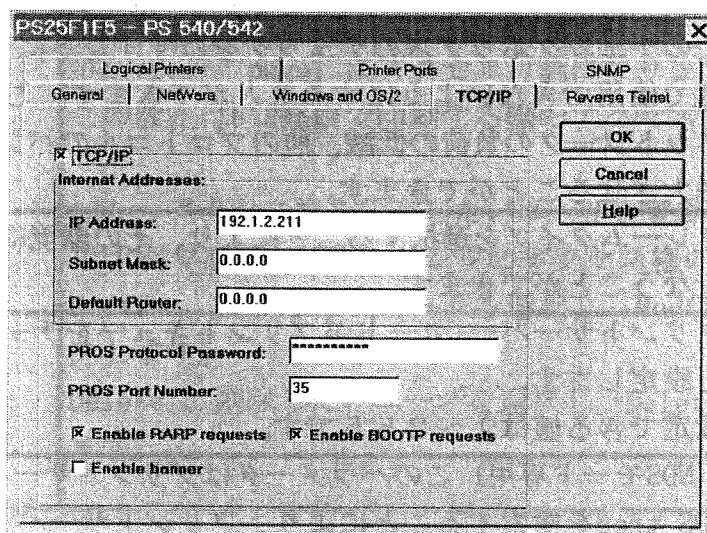
### 7.2.5.3. Windows and OS/2 properties



\* 各パラメータの設定

Windows and OS/2:	このチェックボックスのチェックをはずすことにより、WindowsおよびOS/2環境で使用できないようにすることができます。このことによりネットワークの負荷の低減、他のプロトコルのパフォーマンスを増大させることができます。
Frame Type:	FR_Autoを選択した場合はプリントサーバー・カード起動時にネットワーク上でFR_802_2、FR_DIXのどちらのタイプが使用されているかを調べ、設定します。この自動処理を行ないたくない場合はFR_802_2、FR_DIXのいずれかを選択し、強制的にそのフレームタイプを使用するようにします。

7.2.5.5. TCP/IP properties

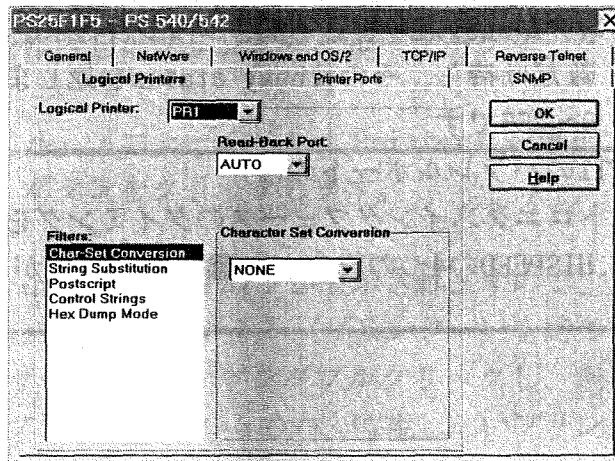


\* 各パラメータの設定

TCP/IP:	このチェックボックスのチェックをはずすことによりTCP/IP環境で使用できないようにすることができます。このことによりネットワークの負荷の低減、他のプロトコルのパフォーマンスを増大させることができます。
IP Address :	プリントサーバー・カードに設定するIPアドレスを入力します。このアドレスは他のネットワーク機器と重複しないようにしなければなりません。
Subnet Mask:	サブネットマスクを入力します。 例えば、Class Cのサブネットマスクは255.255.255.0になります。デフォルトの値「0.0.0.0」を設定した場合、サブネットマスクは自動的に設定されます。

Default Router :	デフォルト・ルーターのIPアドレスを入力します。デフォルトの値「0.0.0.0」を設定した場合、デフォルト・ルーターは設定されません。
PROS Protocol Password :	PROSプロトコルが使用するパスワードを変更することができます。デフォルトのパスワードを変更する場合は、ホスト上のPROSドライバのパスワードにも同じパスワードを設定しなければなりません。
PROS Port Number :	PROSポート番号を設定します。
Enable RARP requests Enable BOOTP requests	RARP、BOOTPの有効・無効を設定します。
Enable banner :	LPDバナーページの有効・無効を設定します。

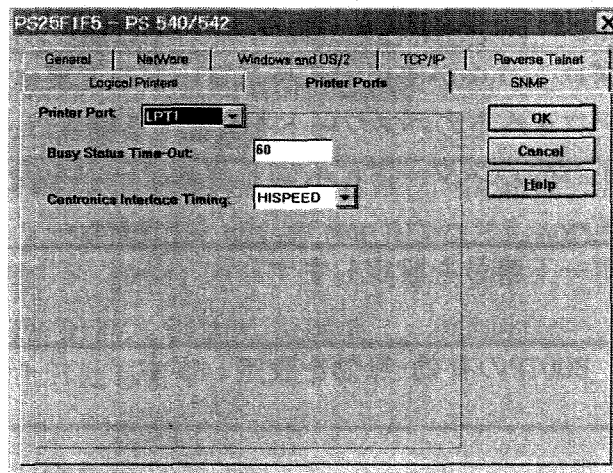
### 7.2.5.6. Logical Printer properties



\* 各パラメータの設定

Logical Printer:	PR1～PR8までの内、どの論理プリンタの設定を行なうかを選択します。他のパラメータはすべてここで選択した論理プリンタの設定を変更していることになります。 第8章高度な機能、8.1論理プリンタを参照してください。
Filters:	ウィンドウの中に表示されている利用可能なフィルタを選択します。フィルタを選択すると、右側のリストの中にそのフィルタで必要な値を設定することができるようになります。 各フィルタの利用方法については第8章高度な機能を参照してください。

7.2.5.7. Printer Ports properties



\* 各パラメータの設定

Printer Port:	設定したいプリンタポートを選択します。 プリントサーバー・カードはLPT1のみです。
Busy Status 秒Time-out: 値は	プリンタがbusy信号を送る間、プリントサーバーは設定された 数だけ待ち、その後busy statusを返します。設定できる 0~255です。
Centronics Interface Timing:	(LPT1の平行ポートのみ) セントロニクスインタフェースのタイミングをIBM_PC、STDRD、 FAST、HISPEEDの4つの設定から選択することができます。